

HP 掲載文書

【2010年1月1日から2015年12月31日までに当科で入院加療した閉塞性動脈硬化症の患者さんへのお知らせ】

研究課題：「バスキュラーラボにおける血管機能検査（虚血肢におけるABIとTBIの測定意義）」

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2010年1月1日から2015年12月31日までに当科で入院治療を受けた閉塞性動脈硬化症を対象に、糖尿病や透析合併例の人と、非糖尿病、非透析合併例の人に分類し、入院時測定した上肢収縮期血圧に対する足関節収縮期血圧の比であるAnkle Brachial Index(ABI)、上肢収縮期血圧に対する足趾血圧の比であるToe Brachial Index (TBI)を解析して病変の部位や症状の重症度を解析するため後方視的調査研究を実施します。

当教室の調査期間は、倫理委員会承認日から2017年2月1日の予定です。

1. 観察研究で、既存資料のみを用いた研究であるため、人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。研究するために必要な資金をスポンサー(製薬会社など)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究を実施する研究者が所属する教室は、エドワーズライフサイエンス株式会社、ファイザー株式会社、アステラス製薬株式会社、大塚製薬株式会社、サノフィー株式会社、泉工医科工業株式会社、CSL ベーリング株式会社、日本メドトロニクス株式会社、日本ライフライン株式会社より奨学寄附金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申請し、適正に管理されています。なお、これらの企業は、本研究課題には直接関係のない企業であります。
2. この研究では学内研究費のみ使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。
3. 研究成果は学会や学術雑誌に発表することがあります。しかし匿名化を行った後に解析されますので、個人情報外部にも漏れることはありません。また資料の取り扱いは研究者の所属する教室のみで行い、外部に提供されることはありません。
4. 研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

正木久男 川崎医大心臓血管外科学 准教授

701-0192 岡山県倉敷市松島 577

TEL:086-462-1111 内線 44492

E-mail:masaki@med.kawasaki-m.ac.jp

